

様式3

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（33） 学校名 豊田市立滝脇小学校

- 1 テーマ 知ろう！守ろう！"滝脇の自然"そして地域に広げよう！
-自然に親しみ、学び、はたらきかける滝つ子の育成-
- 2 ねらい 愛鳥活動を中心とした野生生物保護の活動を通して、自然に親しみ、学び、働きかける態度や郷土を愛する心を育てる。
- 3 活動内容

愛鳥活動を軸とした滝脇小学校区の野生生物保護の活動を以下の3つの視点で展開した。

(1) 知る活動

- ①野鳥の会の講師を招いて、探鳥会を開いた。
- ②3年生以上は学校周辺のカラ類の巣巣調査をし、3.4年生は学区の全家庭に家庭訪問をし、ツバメの巣巣調査をした。
- ③低学年は冬場の野鳥への給餌活動を通して、野鳥の素晴らしさと愛らしさに触れた。

(2) 守る活動

- ①小学校周辺にカラ類の巣箱を設置し、野鳥の生態と住みやすい環境を考察した。
- ②考察した結果から、カラ類の巣巣に適した環境づくりを考え、滝脇の森を守るボランティア団体「つばさと根っこ会」と自治区の皆様に整備をお願いした。

(3) 広げる活動

- ①活動の取組を「愛知県野生生物保護実績発表大会」「全国野生生物保護活動発表大会」で発表し、それぞれ「愛知県知事賞」「奨励賞」を受賞した。
- ②各学年主催の自然いきいき発表会で一年間の研究成果を保護者・地域に発表した。
- ③豊松小学校との交流探鳥会を行い、お互いの学校の愛鳥活動を学んだ。

4 成果と課題

(1) 愛鳥活動について

<成 果>

- ・探鳥会、滝つ子学習（生活科・総合）で学ぶことで、自然に対する追究姿勢が育っている。また、過去から累積された膨大な調査データから分かることを考察する力と、新たな疑問から今後の追求テーマを創出する力が育っている。
- ・11月実施の保護者アンケートでは、「特色ある教育活動を行っているか」に対して、3.7点(4点満点)という高い評価であった。
- ・保護者や地域の方から「半世紀以上続く愛鳥活動は、とても誇りに思えます。今後も継続していくと良いですね」「新しい視点での巣巣調査が素晴らしいです」などの声が聞かれた。

<課 題>

- ・愛鳥検定、巣巣調査など、毎年同じ内容の繰り返しになってきている。伝統を受け継ぎつつ、愛鳥活動を軸とした自然との共生への意識が高くなるようにしていきたい。

(2) 体力向上補助指導員について

- ・専門的な視点で子どもたちの意欲や技能を高める指導をいただいたおかげで、子どもたちの運動能力、運動への意欲が向上した。

(3) 校内整備員について

- ・子どもたちの学びに支障となる樹木の剪定や雑草の刈り取りなどを中心に整備していくことができ、雑草・支障木が原因となる子どもたちの怪我は一件もなかった。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・活動の様子を学校ホームページで随時公開した。（4月～1月：約40回）
- ・学校新聞「しじゅうから」を定期的に発行し、学校での取組を紹介した。学校新聞は保護者および地域全戸に配布・回覧している。また、交流館での掲示も行っている。
- ・各学年の自然いきいき発表会(9月、2月)に保護者、地域の方に参観していただいた。
- ・交流館に「バードカービング」「リーフレット」を展示し、地域の方々に見ていただいた。